

後期基本計画基本施策別一覧表

| | | |
|-----------------------|---------------------|---|
| 基本施策23 生涯学習の推進 | めざす まちの姿 | 豊かな暮らしや充実した人生を送るため、すべての市民が主体となり、共に学び支え合い、その学習の成果を地域や家庭の中で生かすことのできるまちをめざします。 |
|-----------------------|---------------------|---|

| 現状 | 課題 | 個別施策の方向性 【(★)は総合戦略に関連する取組】 | 主な取組 | 主な取組に対する具体的内容の例示 |
|---|---|--|--|---|
| <p>◇市民大学では、幅広い世代の人が入学できるよう、様々な種類の講座や教室を開催し、入学者の増加に努めています。また、SNS等のソーシャルメディアを活用し、情報発信を行っています。</p> <p>◇生涯学習センター登録団体に対し、子どもの体験活動等の指導者就任を働きかけるなど、指導ボランティアや学習リーダーの育成に取り組んでいます。</p> <p>◇市内の社会教育施設等に学習スペースを設置することで、自主的な学習活動への支援を行っています。</p> <p>◇読書活動については、中央市読書活動推進計画に基づき、乳児への絵本の贈呈(ブックスタート)、移動図書館車の運行、デジタル録音図書(デジ図書)等の設置、電子による図書の貸し出し(電子図書館)等により、誰もが本に親しむ機会の充実を図っています。</p> | <p>ライフステージに応じた学習機会の充実が必要</p> <p>市民の主体的な学びの育成・発展が必要</p> <p>生涯学習に自主的に取り組む市民や団体等に対する継続的支援が必要</p> <p>本に関する情報提供等を効率的に行うとともに、さらなる蔵書の充実が必要</p> <p>あらゆる世代が本に触れる機会の創出が必要</p> | <p>①誰もが学べる学習環境づくりの推進 誰もが生きがいのある人生を送れるよう、生涯にわたり学べる環境づくりを推進します。</p> <p>②読書活動の推進と図書機能の充実 あらゆる年代に応じた読書活動を推進するとともに、図書館施設の機能充実を図ります。</p> | <p>①-1 生涯学習について、若い世代にとって親しみやすい学びのスタイルを取り入れるなど、様々な世代の市民が参加できるように、講座や教室内容の充実や、参加しやすい日程での開催、効果的な情報発信を行います。</p> <p>①-2 生涯学習センター登録団体等の活動を通じて、講師及び受講者が相互に学べる機会を創出し、生涯学習の担い手育成を促進します。</p> <p>①-3 生涯学習に取り組む市民や団体等の相互交流の場を設け、生涯学習活動の活性化を図ります。</p> <p>①-4 生涯学習に取り組む市民や団体に対する情報提供や相談対応を充実させるとともに、活動を支援することで登録団体の増加を図ります。</p> <p>②-1 市立図書館(室)の蔵書を充実させるとともに、司書によるレファレンス業務(利用者の依頼に応じた資料や情報の提供)を行うことにより、利用しやすい図書館づくりを推進します。</p> <p>②-2 読書活動がより身近な生活の一部となるよう、移動図書館車の運行、デジタル録音図書の設置、電子による図書の貸し出しなどに取り組めます。</p> <p>②-3 就学前における本との出会い、学校教育での本との関わり、成人・高齢者における読書活動など、あらゆる年代に応じた読書活動を推進します。</p> <p>②-4 家庭や地域、学校やPTAなどとの連携により読書活動を推進するとともに、読書ボランティアと連携した取組を進めます。</p> | <p>・各世代の学習ニーズを把握し、学習内容の充実を図る。世代に応じ参加しやすい講座の日程を設定 ・SNSなどを通じ、積極的に情報発信 ・親子や家族と一緒に楽しみながら学ぶことができる内容(DIY、カメラなど)の講座を実施 ・eスポーツイベントなど、これまでの社会教育では取り組んでこなかった分野の検討 ・しそ学びパスポートの再度のPRと、広範囲の内容の講座</p> <p>・子どもを対象とした夏休み体験教室の開催 ・学童保育での体験教室の開催 ・放課後子ども教室や学遊館の青少年体験活動における、高校生や大学生によるボランティア活動の実施</p> <p>・文化のつどい、芸能大会等、学びを発表する場を設置 ・文化のつどい等の発表の場において、体験できるコーナーを設ける等、新たに生涯学習に取り組む市民の発掘やきっかけづくりの場を創出</p> <p>・生涯学習センター発行のニュースレターでの広報や市の公式サイトなどとおして情報発信 ・生涯学習センター登録団体への施設使用料の免除 ・相談があったときにスムーズな対応ができるよう、市民へ提供する学習情報の収集</p> <p>・本の予約やリクエスト、またカウンターでの利用者とのやり取りから読書傾向(ニーズ)の把握に努め、本を購入 ・中央市立図書館の蔵書を各図書室に巡回展示する等により、各図書室にない本を手にとってもらえる機会を創出 ・興味のある分野の資料や情報を提供するレファレンス業務の実施</p> <p>・図書館から遠い地域へ月に1度、移動図書館車で巡回 ・学校・園・所を訪問し、貸出や読み聞かせ会などを実施 ・デジ図等音声図書及び電子図書館の利用を図書館・図書室のたよりや広報、ホームページ等により啓発 ・毎月テーマに沿った本を利用者の目に触れやすい場所に展示し、読書意欲の喚起</p> <p>・読書の魅力を伝えるため、子どもに向けては、本の読み聞かせ会や講座等を開催するとともに、大人に向けては読書会、読書講演会を開催 ・移動図書館車にてデジサービス等高齢者施設を訪問し、本に触れる機会を創出 ・定期的に「本の小部屋通信」を発行し、子どもの本について紹介するとともに学校での読み聞かせに適した本のリストを配布</p> <p>・保護者や地域の人による読み聞かせなどの取組みの推進 ・学校教育課が主導し、読書ボランティア連絡会を行い、ボランティアに対する読み方の講習、本の選び方をアドバイス</p> |

| | 指標名 | 単位 | 現状値(R2実績) | 目標値(R8) | 数値の把握方法 | 目標値設定の考え方 |
|---------|----------------|-----|---------------|---------|-----------------|--|
| まちづくり指標 | しそく学びパスポート所持者数 | 人 | 209 | 234 | 担当課保有の管理台帳(年度末) | 参加者が固定化している現状にあるが、講座内容の工夫など検討を行い、現状値を基準に1年あたり5人の増加を目標とする。 |
| | 生涯学習センター登録団体数 | 団体 | 56 | 62 | 担当課保有の管理台帳(年度末) | 近年減少傾向にあるが、新たな団体の登録に向け、広報・啓発に努めることで、年間で1団体以上の増加を目標とする。 |
| | 市民1人あたりの図書貸出冊数 | 冊/年 | 3.6 (R1実績) | 6.7 | 担当課保有の管理台帳 | 県内自治体の平均貸出冊数(R1年度調査における平均数値)を目標とする。 ※貸出冊数6.7冊/年間・1人あたり) |
| | 電子図書館利用登録者数 | 人 | 170 | 364 | 登録申込書 | 市立図書館(市内各図書室含)利用有効登録者(R2年度時点:3,648人)の10%程度を目標値にとする。 |

| 個 関 連 計 画 | 計画名 | 計画期間 |
|-----------------------|-------------|--------|
| | 宍粟市社会教育振興計画 | H29～R3 |
| | 宍粟市読書活動推進計画 | R2～R7 |

| 統計等数値 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●(R2)図書館箇所数(館):1 ●図書館 市民1人当たりの年間貸出冊数(冊):(H26)2.8、(H27)3.1、(H28)3.4、(H29)3.3、(H30)3.7、(R1)3.6 市民1人当たりの蔵書冊数(冊):(H26)3.7、(H27)3.9、(H28)4.2、(H29)4.5、(H30)4.6、(R1)4.6 |